

意見交換から生まれた協働の輪！環境にやさしい農産物マルシェを開催

令和6年11月の意見交換をきっかけに、販売業者の呼びかけでマルシェが実現。
令和7年3月の初開催が好評を博し、同年9月の第2回開催へと発展。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

令和6年11月、生産者、流通販売業者、消費者を集め、「環境に配慮した農産物の生産・消費拡大に向けた意見交換会」を開催。
意見交換会では、環境に配慮した農産物の認知度が低く、特に消費者への普及啓発が課題であるとの認識を共有。

会議終了後、販売業者から課題解決に向けた協働の提案があり、マルシェ開催へと発展。

○ 取組の内容

環境に配慮した農産物マルシェの開催。（山口県拠点主催）
クイズイベントやパネル展示などによる施策周知。
「みえるらべる」の登録推進及び消費者への普及啓発。

○ 効果・成果、今後の方向性

生産者と消費者との交流が図られ、環境に配慮した農産物への理解醸成につながった。

第1回マルシェが好評を博し、第2回開催へと発展した。

マルシェ後、販売業者が出店者を訪問し意見交換を行うなど、生産現場への理解が進み連携が深まった。

継続開催に向け、引き続き関係者との連携を図っていく。



体制図

マルシェ
チーム

令和7年3月、9月

消費者への普及啓発の
推進を目的に、マルシェ
を開催

発展

意見交換会
チーム

令和6年11月

「環境に配慮した農産物の生
産・消費拡大に向けた意見
交換会」を開催